

# 歯科麻酔学入門（脇田 亮）

Introduction to Dental Anesthesiology (Ryo Wakita)

## キーワード

- ① 全身管理医歯学
- ② 麻酔科学
- ③ 全身麻酔
- ④ 静脈内鎮静法
- ⑤ 疼痛治療

関連する学位授与方針  
DP(ディプロマポリシー)

①

関連する教育実施方針  
CP(カリキュラムポリシー)

①

## 授業概要

麻酔学は全身麻酔学および疼痛治療学の分野から成り立ち、特に全身麻酔学は、全身疾患を有する患者の歯科診療時の全身管理とも密接に関係した分野である。本講義では、麻酔科学を専門とする教員が、それぞれの分野について基本的および専門的な解説を行い、問題解決型の授業を展開する。学生は、さまざまな専門的視点から議論を行い、複数分野にわたる知識の体系化を達成することで、麻酔科学の理論と実際を理解し、専門的知識を修得し、臨床研究を検討する能力の基本を養成することを目的として開講する。

## 授業科目の学習目標

麻酔科学は、手術や歯科診療による侵襲から患者の身体を守る非常に重要な学問分野である。これは、全身疾患を有する患者の歯科診療時の全身管理をも包括する学問であり、超高齢社会における歯科医師としては欠かすことのできない分野である。それらの観点に基づき、本科目では大学院レベルにおいて必要な知識を修得する。

## 授業計画

- ① 麻酔科学の基礎知識と臨床 14コマ 脇田 亮
  - ・麻酔科学の意義
  - ・循環器呼吸器代謝の基礎知識と麻酔科学臨床の発展
  - ・麻酔科学に関する薬理学と臨床の発展
  - ・顎顔面口腔領域の疼痛治療学と臨床の発展
- ② 麻酔科学の臨床および研究の倫理規範 4コマ 脇田 亮
- ③ 麻酔科学研究の展開 12コマ 脇田 亮
  - ・全身麻酔、静脈内鎮静、局所麻酔の研究の展開
  - ・顎顔面口腔領域の疼痛治療の研究の展開

## 教科書および参考書

- ① 福島和昭 編: 歯科麻酔学 第9版 医歯薬出版
- ② 武田純三 監訳: ミラー麻酔科学 メディカルサイエンスインターナショナル

## 履修に必要な予備知識や技能、および一般的な注意

授業計画の各項目では、基礎的知識の修得に加え、本分野の教員が専門とする領域の関連論文を塾読し、概要の理解が求められる。

## 大学院生が達成すべき行動目標

- ① 麻酔科学の意義を理解し麻酔科学の基本を説明できる。
- ② 麻酔科学の臨床および研究における倫理規範を理解し応用できる。
- ③ 麻酔科学研究論を理解し実践できる。

## 評価

試験	小テスト	レポート	成果発表	ポートフォリオ	口頭試問	その他
30%	0%	15%	15%	0%	40%	0%

## 評価の要点

- ・試験は、講義の知識の理解度を判定する。1回30%
- ・レポートは、①～③の各1項目について課題を提出する。5%×3回=15%
- ・成果発表は、①～③の各1項目について成果を発表する。5%×3回=15%
- ・口頭試問、実技は、適宜行い、知識の理解度を定性的に判定する。40%

## 理想的な達成レベルの目安

臨床麻酔科学入門の理想的な達成レベルは80%以上とする。